

# 建設業

栃木県総合スポーツゾーン新スタジアム

延床面積 42,037 m<sup>2</sup>・地上 4 階・RC/S 構造。400 メートルトラック 9 レーンの陸上競技場と、Jリーグの施設基準に準拠した天然芝のサッカー場を備える。観客席は全席屋根付きの約 2 万 5000 席、最大約 35 度の勾配でフィールドとの一体感を演出する。

働く人の  
生活が  
もっと

## 安定できるように

生活の基盤が安定してこそ、人は一生懸命に働くことができます。栃木県の建設業は県内で月間の給与額が各業種の中でも上位にあり\*、協会会員企業は全社社会保険加入を既に達成していますが、今後もさらに環境整備を進めています。

\* 栃木県統計課「毎月勤労統計調査調査結果」より

### 「休む」を大事に

工期短縮の目的で長時間労働になりがちだった建設業。私たちは 4 週間（28 日間）に 8 日の休みを割り振る「4 週 8 休」を基本に、しっかり休んでしっかり働く体制を目指しています。

### 女性も働きやすく

協会および栃木県により「とちけん小町魅力向上委員会」を発足。専用の更衣室やトイレの用意、育児休業後の復帰も含め、女性も働きやすいように設備や意識の変革に努めています。



一生を  
通じて  
もっと

## 成長できるように

仕事とは、お客様や社会のためだけのものではなく、働く人が成長するための大切な機会でもあります。技術や知識をしっかりと習得し、お客様や社会にさらに還元できるように、教育や伝承に力を注いでいきます。

### 「学ぶ」を応援

職人世界にありがちな「見て覚える」体質を見直すべく、積極的に研修会を開催。技術を学び生涯の単位として取得できる「継続学習制度」も推奨し、技術の向上・伝承を図っています。

### 将来の姿を例示

若者や新規入職者が将来像を描きやすくなるようキャリアプランをサポート。資格の種類、取得時期や取得により従事できる職務、収入なども例示し、キャリアアップを促します。



私たちは「建設業進化論」をテーマに掲げ、技術はもちろん、働き方も、

